

## 日吉津村自治基本条例推進委員会（第5回）議事録

日時：平成22年6月25日（金）  
午後7時30分～9時30分  
場所：役場第3会議室

出席者 松岡委員、長谷川委員、井藤委員、河中委員、田中委員、山路委員  
欠席 真砂委員、松本委員、福谷委員、立脇委員、川原委員、山崎委員  
**事務局** 高田課長、福井主査、鬼束主事

### ■資料

- 北栄町提言書、米原市意見書
- 第1～4回の推進委員会での主な意見（まとめ）
- 広報ひえづ7月号原稿案

### □開会

- ・推進委員会条例第6条第2項の規定で、委員会は委員12名の過半数6名以上の出席により成立する。出席者は6名なので成立。

### □会長あいさつ

- ・本日は委員の出席者が少ないが、意見を集約して提言書に反映したい。

### □協議事項等

#### ①提言内容について

##### （事務局）

- ・本日は意見を集約して提言書へ反映することが目的。このためワークショップ形式によりグループで協議する。
- ・北栄町の提言書、米原市の意見書、第1～4回の推進委員会での主な意見（まとめ）の説明。
- ・提言の内容について、説明した以外の意見を集約して、提言書に反映する。

##### （提言内容についてのワークショップ）

##### （委員）

- ・情報の公開（村民への周知）ができていない。アンケートの回収率を高める必要がある。参画する村民の層を厚くするための方策を考える。行政懇談会等の会議での書記を置く必要がある。数値化等、計画の達成率は、総合計画でも評価している項目もあり、共有する必要がある。役場で留守番電話を置きなんでも吹き込めるようにしてはどうか。

##### （委員）

- ・説明する際は行政用語を分かりやすくして説明してほしい。以前、社会実験で行っていたワンセグ（Eメール）で役場の情報を得ていた。

(委員)

- ・議会報告会が開催された「議会は、一步前進」をうたっておいたほうがよい。職員の役割と責務の問題で、地域の一員として活動しなければならない。職員全員に対する条例の研修が徹底されているのかどうか？我々に見えない。米原市の内容は高度にまとめてあり、北栄町のまとめ方がわかりやすい。資料のように項目ごとにまとめて関連条文を記載する方がわかりやすい。

(委員)

- ・情報の共有の中で、予算の公表が最も大事と思う。日吉津の活動団体を再認識することで何か良いヒントがあるのではないか。年代別の活動を生かしてみてもどうか。年代別だと互いに通じるところがあるのでは。こどもの健全な育成を願い、親とのかかわりの場があればと思う。大人（特に母親）のマナーが悪いと感じるところが多く、子育てが心配。

(委員)

- ・自治基本条例を施行してどうか変わったか成果の検証が必要。村民への周知徹底、いかにみなさんに条例を理解してもらえるか。職員・議会・村民ともに意識改革が求められる。協働と参画について、大人にももっと具体的にわかりやすく示すべき。

提言についてのワークショップ結果は、別紙「提言内容について」参照

(事務局)

- ・提言（案）について、これまでの意見及び本日の意見を含めて作成する。

②条例の村民への周知について

(事務局)

- ・「自治基本条例ってなんだろう？」パンフレットができたので、この内容に沿って広報ひえづ 7月号から11月号までシリーズで解説していく。12月号では、条例ができて変わったことを掲載し、1月号からは少し内容が高度になるが「手引き」の内容を連載で解説する。また適当な時期に推進委員会の開催状況、内容の紹介、提言後には提言内容を掲載し、条例の周知に努める予定。
- ・「自治基本条例ってなんだろう？」パンフレットは200部印刷している。配布の対象は、毎年小学校5～6年生。授業の一環として説明できたらと思っている。説明方法は、推進委員が役割分担をして、推進委員が主体となって、役場はサポート役としたいが？

(委員)

- ・自信がない。

(委員)

- ・難しい。委員がよく理解していないのに、こどもに説明するには言葉にも注意する必要がある。

(事務局)

- ・役割分担をしていく。みなさんと一緒に取り組む趣旨を理解してもらいたい。あとは付け加えたりと、修正をしてサポートしていければと思う。

(委員)

- ・先ほど委員から意識改革をと提案したからには、こちら（委員）も意識改革して小学生に説明していかなければならないのかも。

(委員)

- ・先生が説明することと、村民の我々が説明することでは子どもたちの受け止め方が違うと思う。我々が前向きに説明することが重要だと思う。

(委員)

- ・村民が説明することに意義があると思う。

(事務局)

- ・小学生への説明は早くても 2 学期始まってから。今後準備を進めていきたい。

### ③その他

(事務局)

- ・住民投票法案が可決・施行されたら、村の条例も施行できるように検討していけたらと考えている。
- ・議会の日程については、広報誌のカレンダーに掲載されているので、積極的に議会の傍聴をお願いしたい。

(今後の研修内容についてのワークショップ)

ワークショップ結果は、別紙「今後の研修内容及び優先順位について」参照

(事務局)

- ・提言（案）について、これまでの意見及び本日の意見を含めて作成し、後日委員に郵送してご意見をいただく。その結果を会長と副会長に最終確認していただき、その後、村長に提言書を提出することとする。

### □閉会

(副会長)

- ・花とお茶を出してもらって、ワークショップで議論するほうが、非常に汗をかきましたが意見が出しやすく、やりやすかったと感じた。また機会があればこのような形式で進めていただきたい。

## 提言内容について

平成22年6月25日 第5回自治基本条例推進委員会(ワークショップ結果とりまとめ)

項目	内容
条例の成果	議会報告会「第1回議会と語ろう」が開催されたことは成果である
意識改革	条例についての職員研修等の実施を
	職員は、地域の一員として地域活動への積極的な参画を
	意識改革の方策
	若者の行政へ参画促進方策
	男女共同参画の推進
	効果的なホームページの運用（行政・議会・ボランティア等）・内容の充実
評価の方法	自治基本条例施行による成果の検証（行政及び村民）が必要
	評価に当たっては、総合計画（実施計画）の評価も参照する
参画の問題	年代別の活動が活かされたらどうか
	子どもと親のかかわり方を重視
	参画の層を厚くする方策を
	どんな活動団体・内容があるか？
	どうしたらいろいろな方が参加できるか
	留守番電話を役場に置いては（要望等を常時受付けるため）
	アンケートが必要
	アンケートの回収率を高める討議を
協働と参画を具体的に分かりやすく説明する	
徹底	住民への周知徹底（情報の公開）の工夫を
	予算の公表（分かりやすい工夫が必要）
	大人のマナー向上
	行政懇談会に書記を置く
	参画と協働を確保するための具体的方策
	ダイレクト提案の具体的方法、検討・実施状況の公表

## 今後の研修内容及び優先順位について

平成22年6月25日 第5回自治基本条例推進委員会(ワークショップ結果とりまとめ)

優先順位	研修内容	実施方法	関係課
1	村長の施政方針について		
	これまでの村長の施政方針の説明が聞きたい	村長との意見交換会の開催	地域振興課
	村長と語る会(腹を割った話)を開催したい		地域振興課
2	税等について		
	ふるさと納税について	研修会	地域振興課
	税収の状況、税の仕組みについて	研修会	総務課、住民課
	医療(保険)制度について	研修会	福祉保健課
3	議会について		
	議会の流れについて	研修会	議会又は議会事務局
	議会全協の傍聴について	傍聴	
4	インフラ等について		
	村のインフラの現状について	研修会	建設産業課
	下水道等、環境問題について	研修会	建設産業課、住民課
	荒地の活用について	研修会	建設産業課
5	子育てについて		
	小学校、保育所について	研修会	教育委員会、住民課
	子育てサークルの活動状況について	研修会	福祉保健課
6	役場の仕事について		
	予算編成の順序と実態について	研修会	総務課
	役場の仕事の内容について	研修会	地域振興課
7	先進地視察について		
	先進地との意見交換	視察	地域振興課
	先進地(北栄町)の実態について	視察	地域振興課
8	村内の団体及び実行委員会等について		
	村内活動団体の現状について	研修会	総務課、地域振興課
	各種事業の実行委員会について	研修会	教育委員会
9	公民館活動について		
	公民館の利用状況について	研修会	教育委員会
	公民館活動団体への補助金及び用途について	研修会	教育委員会